

市民と野党の共闘で 安倍9条改憲を発議させない 3000万署名成功を！

市民アクション@愛知3区 井上議員



植田駅前では井上氏(右2人目)、近藤氏(中央)ら

井上哲士参院議員は1月28日、名古屋市天白区で開かれた市民と野党が手をつなぎ、安倍9条改憲をストップさせるつどいに参加しました。主催は「みんなが主人公の政治をつくる市民アクション@愛知3区」。井上氏のほか、同選挙区で野党共闘候補として当選した立憲民主党の近藤昭一衆院議員、社民党、新社会党、緑の党、自由党の各代表者も参加して、発言しました。

井上氏は「国民の多数は9条改憲に反対で、改憲を急いでいるのは安倍首相だけ、3000万署名で安倍政権を包囲しよう」と呼びかけました。近藤氏は「憲法の一字一句とも変えさせてはいけない。なんとしても発議させない。立憲野党が力を合わせ頑張っていく」と述べました。つどいの後、地下鉄植田駅前では井上氏、署名への協力を訴えました。

市民と野党をつなぐ@尾張旭 本村議員

本村伸子衆院議員は1月27日、市民と野党をつなぐ@尾張旭が開いた「野党は安倍政権とどう闘うか」のつどいに参加しました。

政党からは本村氏のほか、立憲民主党の山尾志桜里衆院議員、自由党の松本和夫愛知県連顧問が参加しました。

本村氏は憲法に自衛隊を明記すれば9条2項は空文化し、アメリカと一体に海外で無制限の武力行使ができるよ

うになること、世論調査でも国民は9条改憲を望んでいないことなどを強調し、「改憲発議の阻止へ力を合わせよう」と述べました。会場からも3000万署名に取り組む様子などが紹介されました。

合意のない着工はない リニア問題で静岡県副 知事 本村議員と懇談

本村伸子衆院議員は1月26日、リニア新幹線問題の調査のため静岡県庁を訪れ、難波喬司(たかし)副知事らと懇談しました。島津幸広前衆院議員も同席しました。

リニア新幹線は南アルプスを10・7キロのトンネルで貫き、自然環境破壊、大井川の水質減少など、静岡県にとってメリットはありません。JR東海は、大井川の水が毎秒2トンも減少すると試算していますが、「湧水の全量を恒久的に確実に戻す」ことなどを求める下流

の利水者との協定は結ばれないままです。難波副知事は「水の問題は人間にとつてもものすごく大切な問題です。JR東海には最善の方策を求めています。十分な回答はない。合意がないままの着工はない」と語りました。また、利水者との協定とともに自然環境の保護など全体に関わる県との協定締結をJR東海に求めていく考えを示しました。

